日時	平成 26 年 12 月 17 日　10:00～12:40
派遣先	千葉市立千葉高等学校

10:00　TWINCLE オフィスに集合し、本日の日程とプレゼンテーションについて簡単に確認する。その後、自転車組・電車組に分かれて移動

11:00　千葉市立千葉高等学校事務室前に再集合し、英語科の杉田先生から説明を受ける。今回の留学生は日本語と英語を話すことができ、所々2 カ国語を交えて和やかな雰囲気で行われた。

11:20　SSH クラス 2 年生の教室に向かう。簡単に自己紹介をした後、お互いの緊張を解きほぐすため、アイスブレーキングを行った。「Who am I」ゲームは盛り上がり、生徒たちの笑顔も見られた。

11:50　留学生 2 人によるプレゼンテーションが始まった。最初にインドネシアの文化を紹介し、続いて研究についてプレゼンテーションをした。

日本の高校とインドネシアの高校における比較教育について英語で時々日本語を交えながら話していた。1 名はインドネシアで高校教師をやっていたこともあり、スライド 1 枚 1 枚確認をしながら生徒たちの様子を見て進めていた。生徒たちの発言や質問は少なかったものの、話を聞きながらうなずく様子が見られた。今回は限られた時間の中で初めてプレゼンテーションをしたこともあり、少し緊張していると思われる生徒もいたが、英語をこういった交流の機会を重ねていくことで、お互い伝える技術を高めていくことができると感じた。

派遣先教員 コメント	留学生が参加することにより、生徒たちが良い緊張感の中で発表をすることができました。今後も是非、英語発表会に留学生に参加していただきたいと思います。
留学生 コメント	The students have the chance to meet international students directly. By introducing research or culture it means helping them to broaden their knowledge. Personally, I as an international student, felt very nervous to be invited to see directly the life of Japanese students.
学生リーダー コメント	留学生が高校生の様子をあらかじめ確認したり、積極的に交流をしようとしたりする姿が印象的だった。一方、高校生には少し堅さも見られたが、留学生の英語で伝える姿は良い経験になったのではと思う。継続的な交流に期待したい。